

図研エルミック株式会社 会社説明会

(東証マザーズ：4770)

2011年11月29日

代表取締役社長 朝倉 尉

会社紹介

会社概要



社名	図研エルミック株式会社	
設立	1977年4月30日	
資本金	1,202,036,093円 (2011年9月30日現在)	
従業員数	84名 (2011年9月30日現在)	
事業所	本社 (横浜市港北区新横浜3-1-1図研新横浜ビル) 大阪営業所 (大阪市浪速区湊町1-4-38号近鉄新難波ビル9階)	
役員	代表取締役会長 代表取締役社長 取締役 取締役 監査役(常勤) 監査役 監査役	勝部 迅也 朝倉 尉 小堀 秀男 下条 雅人 安藤 貴三男 新井 浩之 佐野 高志
関係会社	株式会社 図研	

沿革



- 1977年 マイコン関連の総合システムハウスとして、(株)エルミックシステムを横浜市に設立
- 1983年 ELXシリーズ(ELX-86M)販売開始
- 1984年 大阪営業所開設
- 1991年 ISDNボード(PC-INS)販売開始
- 1995年 半導体製造装置向け通信ソフトウェア(GEM)販売開始
- 1998年 組込み専用インターネットプロトコル(KASAGO TCP/IP)販売開始
- 2000年 ITRON仕様準拠RTOS(ELX-ITRON)販売開始
東証マザーズに上場(7月25日)
- 2002年 KASAGO IPv6販売開始
- 2003年 KASAGO IPv6が組込み用プロトコルとして国内初の『IPv6 Ready Logo』取得
- 2004年 半導体製造装置向け通信ソフトウェア(SoftCOMGEM300)販売開始
- 2005年 ウェスコム社と合併し、エルミック・ウェスコム株式会社に
組込みフラッシュ ファイルシステム(SAVER60)販売開始
- 2006年 TCP/IPオプションソフトウェア(IPSec)販売開始
- 2007年 株式会社シーイーシーと業務提携発表
組込み向けマルチメディア通信プロトコル(SIP)販売開始
- 2008年 株式会社図研と業務資本提携発表
- 2009年 株式会社図研よりSoC事業部を会社分割により承継(6月)
図研エルミック株式会社へ社名変更(7月)
次世代ネットワーク向け高付加価値ミドルウェアZe-PROシリーズ(RTP, ONVIF)販売開始
開発プラットフォーム製品群Z-SYSシリーズ販売開始
NECエレクトロニクス殿(現ルネサス エレクトロニクス殿)とXBridge, PFESiPでの協業開始
- 2010年 PC98アーキテクチャ互換システム(iNHERITOR II)販売開始
シリアル-LANコンバーター(MPC)販売開始
マルチスタイルライブラリ YAMAMEシリーズ(JPEG XR)販売開始
- 2011年 韓国Miware Inc.と販売代理店契約締結 韓国で「KASAGO」「Ze-PRO」「ELX」販売開始
ONVIF NVS部ライブラリ「Ze-PRO IPrec」販売開始

事業概要

組込システム技術を2つのアプローチでご提供



組込SW開発 / LSI・基板開発 / C Based LSI Design

2012年 3月期 第2四半期

決算報告

業績結果



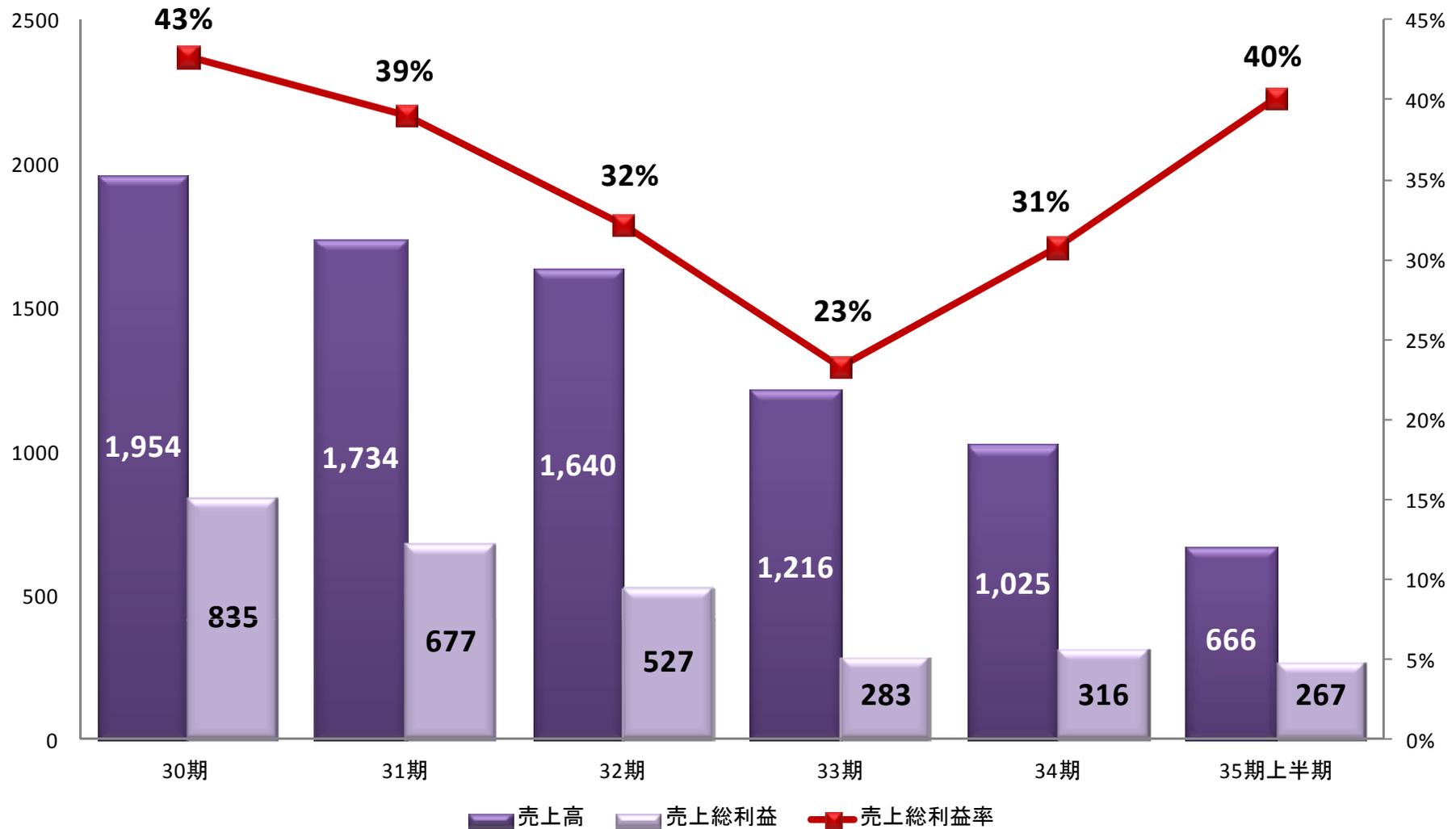
単位：百万円、%

35期	第1四半期		第2四半期		上半期	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
売上高	254	103%	412	188%	666	143%
売上原価	148	101%	250	200%	399	146%
売上総利益	105	108%	161	172%	267	139%
販管費	144	60%	147	71%	291	65%
営業利益	▲38	+102	14	+126	▲23	+229
経常損益	▲36	+98	14	+119	▲21	+217
当期純利益	▲36	+74	13	+114	▲23	+189
受注残高	512	186%	-	-	447	133%

- ビジネス転換の浸透により、受注高・売上高・売上総利益の改善
- 人員縮減による販管費の削減効果
- 第2四半期の黒字化

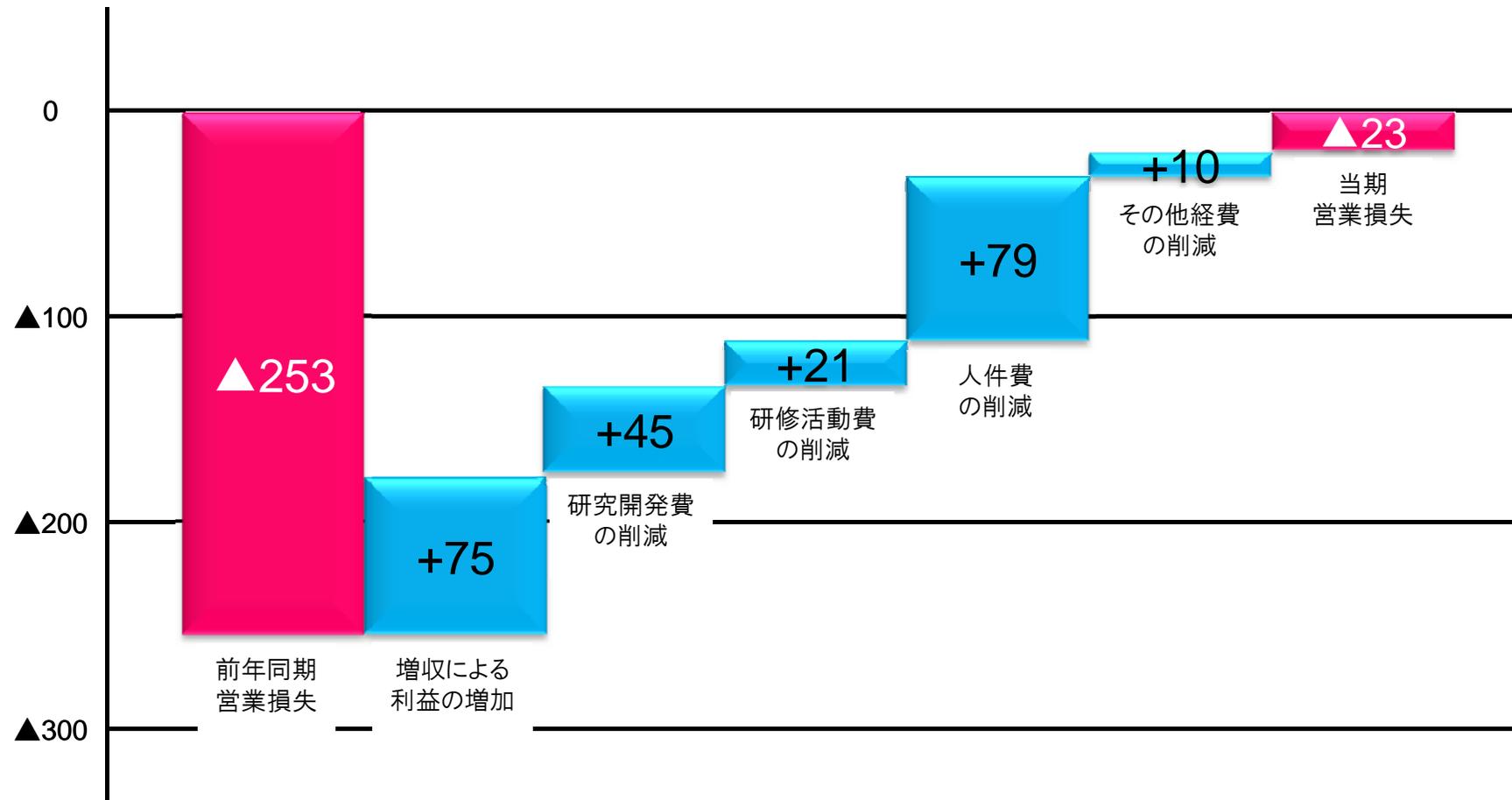
売上高・売上総利益 推移

単位:百万円



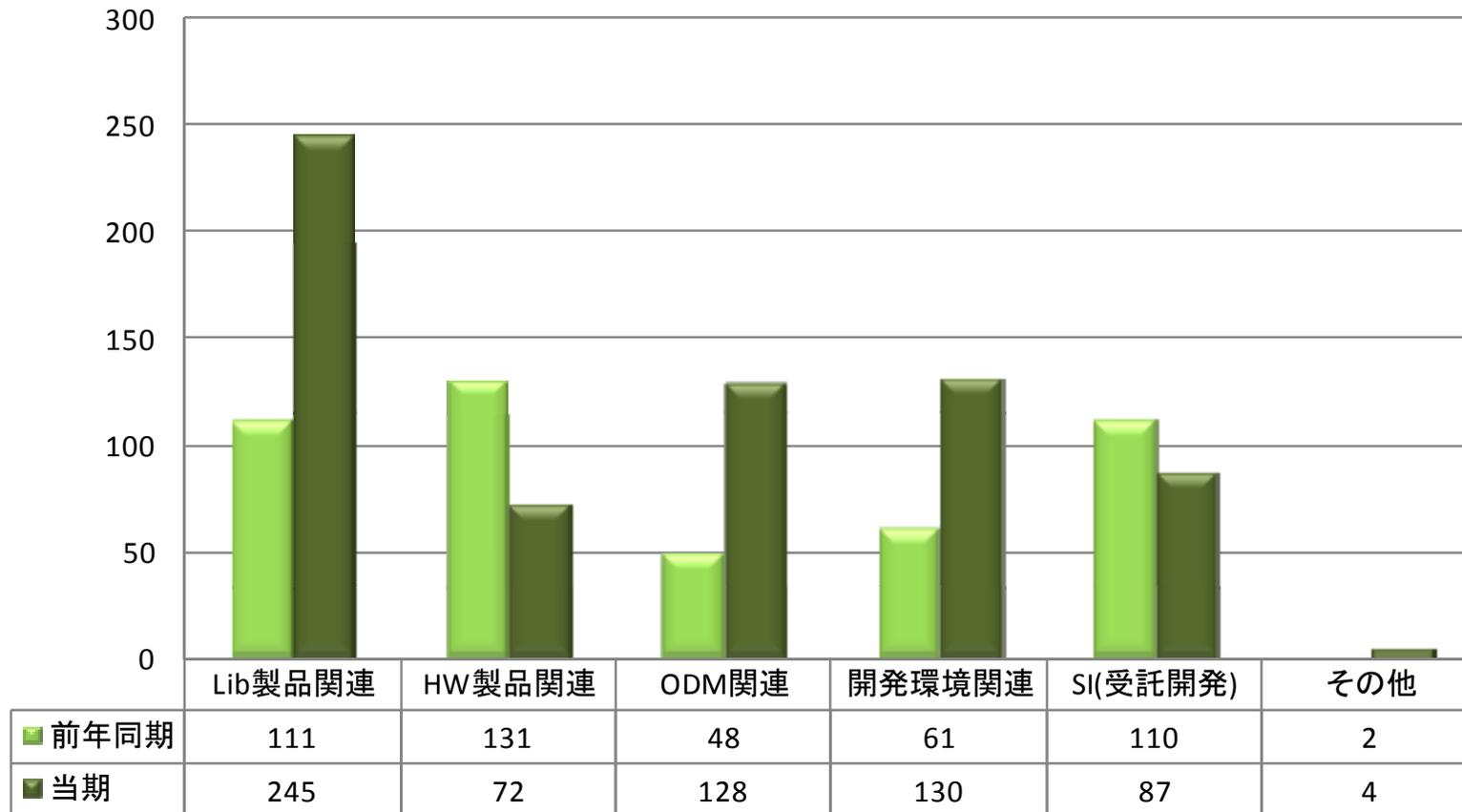
営業損失 改善要因

単位:百万円



売上高 前年同期比 (製品区分別)

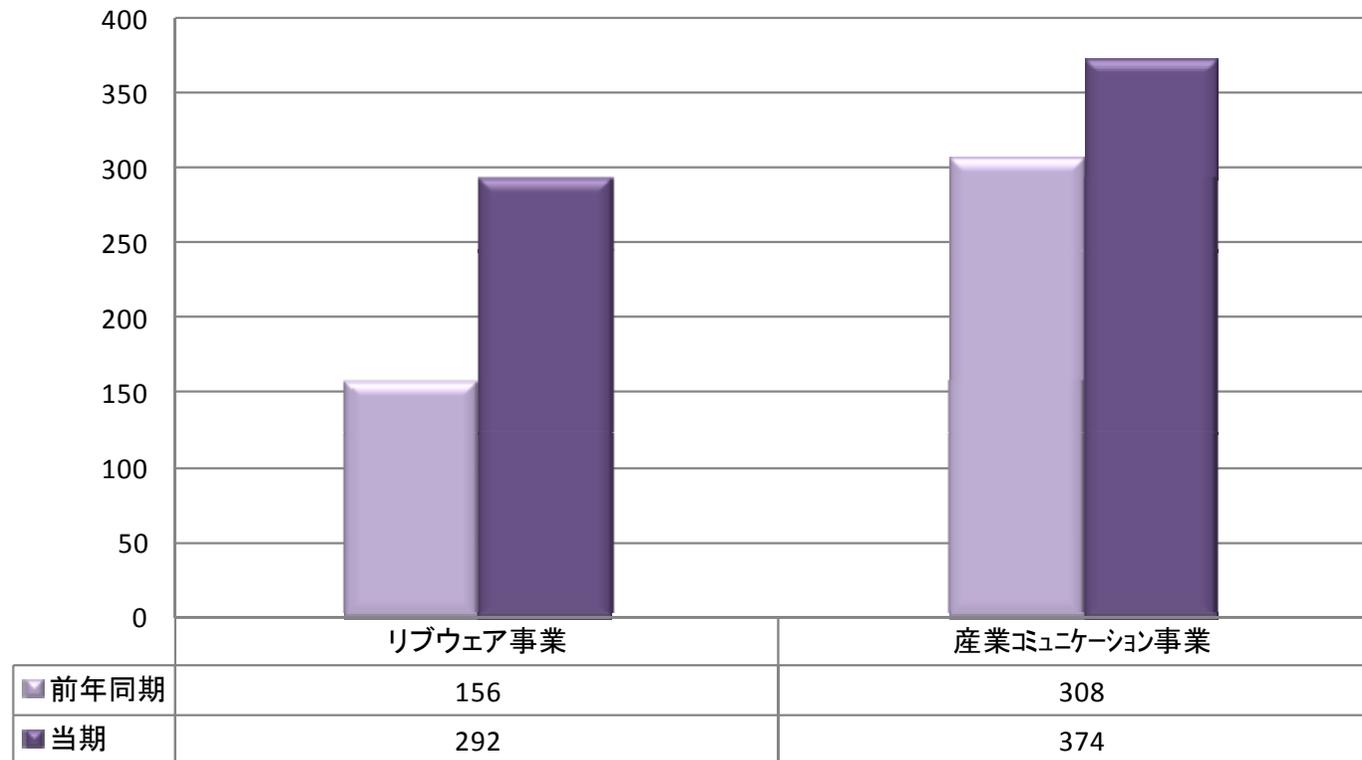
単位：百万円



- Lib製品 : TCP/IPのRoyaty収入および監視カメラ分野向けライブラリの販売が好調に推移。前年比¥134M増(120%増)
- HW製品 : 今年度は小口取引が中心。震災の影響もあり、新製品拡販が苦戦。前年比¥59M減(45%減)
- ODM関連 : プリンタ向けLSIや産業用途向けボード供給が堅調に推移し、大幅増加。前年比¥80M増(166%増)
- 開発環境 : 液晶製造関連装置向け開発ツールが堅調に推移し、大幅増加。前年比¥69M増(113%増)
- SI(受託開発) : 事業方針の転換により減少。特定顧客からの需要は安定的に確保。

売上高 前年同期比 (セグメント別)

単位：百万円



- **ソフトウェア事業**
事業部制による活動の集中が実績に繋がり、ネットワーク通信及び監視カメラ分野向けライブラリの販売が堅調に推移し、大幅増加。前年同期比¥136M増(87%増)
- **産業コミュニケーション事業**
事業方針の転換による受託開発業務の減少やHW製品の売上減少があったものの量産供給を目指すODMビジネスや液晶製造関連装置向けの開発製品が好調であり、売上高増加。前年同期比¥66M増(21%増)

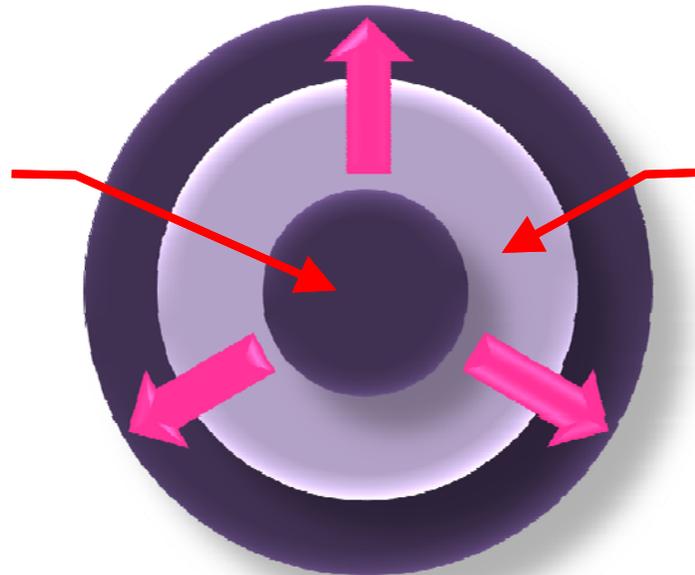
2012年 3月期 業績見通し

(重点活動方針)

経営方針

**製品販売を主体とした
収益力の高いビジネスモデルによる、
強固な経営基盤の確立**

高付加価値で
ユニークなコア技術



量産供給やサービスを見据えた応用技術

コア技術を増強し、応用技術を駆使して、同心円的にビジネスを拡大。

組込コア技術のリーディング・カンパニー
～ Embedded Value-sourcing ～

**付加価値が高く ユニークな
コア技術を持ち、
ロイヤルティ/量産供給ビジネスを確立し、
お客様の事業パートナーとなる。**

経営目標・業績計画

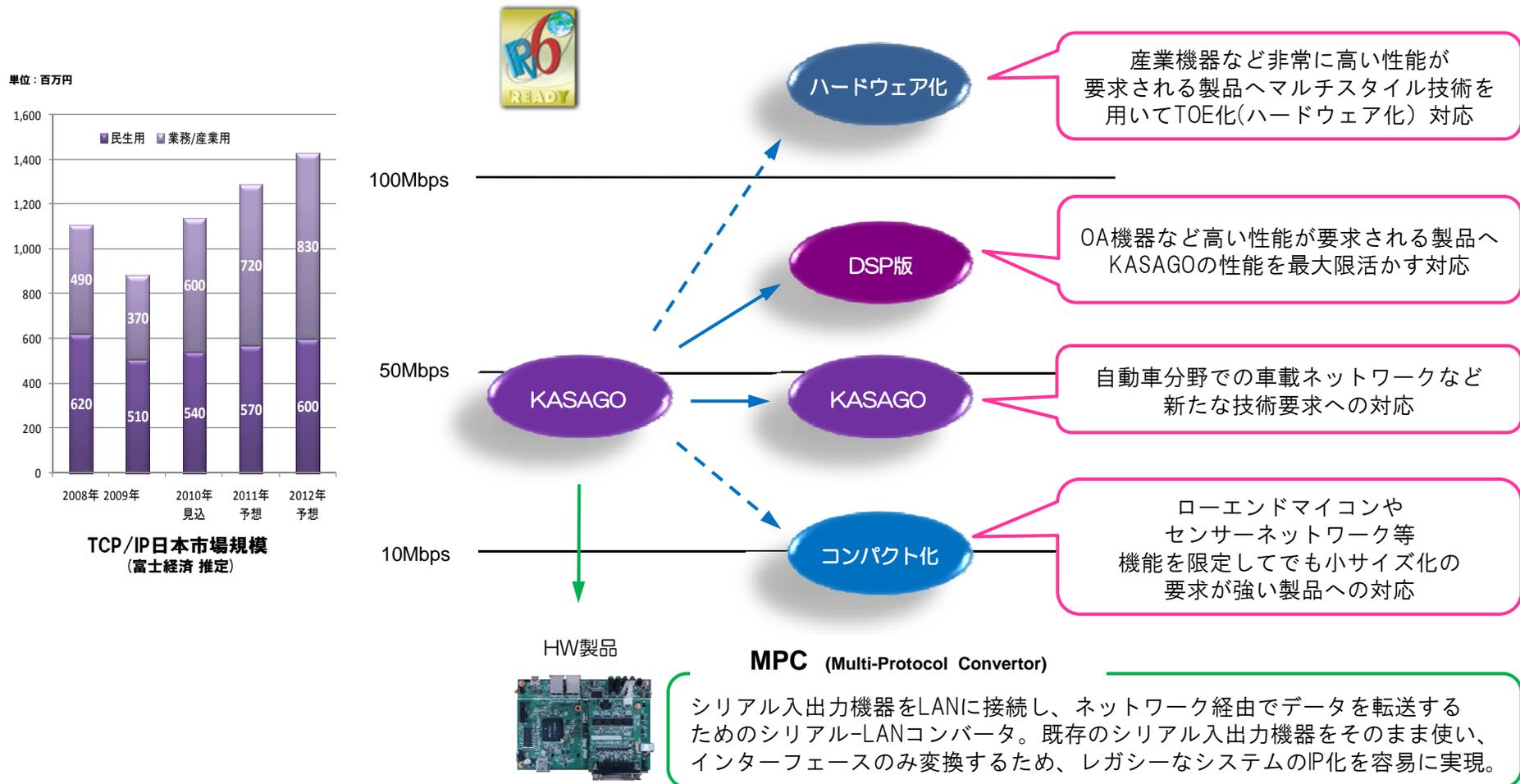
	2011年度		2012年度		2013年度	
		前年比		前年比		前年比
売上高	1,150	112%	1,558	135%	1,950	125%
営業利益	10	+499	70	+60	270	+200
営業利益率	1%		5%		14%	
製品売上	874 (76%)		1,096 (70%)		1,290 (66%)	
ストック売上	299 (26%)		581 (37%)		855 (44%)	

- 売上高 20億円
- 営業利益率 15% (売上総利益率50%以上)
- 製品関連の売上比率60%以上
- スtock売上比率40%以上 (ロイヤルティ/量産供給などエンジニアリソース非依存の売上)

多様なネットワークへの対応

『TCP/IP 関連製品のシェア拡大』

IPv4のアドレス枯渇に伴う、IPv6のニーズの本格的な高まりやセンサーネットワーク・レガシー機器のネットワーク化などの要求に対応し、KASAGOシリーズの更なるシェア拡大を推進。



IPセキュリティ分野でのビジネス拡大

『ONVIF関連製品のシェア拡大』

IPセキュリティ機器の相互接続規格であるONVIFに対応したミドルウェア、Ze-PROシリーズの新製品投入によりONVIF準拠のネットワークカメラシステムに必要な構成要素を全てカバーし、シェアNo.1獲得を推進。またライブラリを応用したHW製品リリースにより新たな顧客層の獲得を推進。

日刊工業新聞 記事(2011年11月16日)

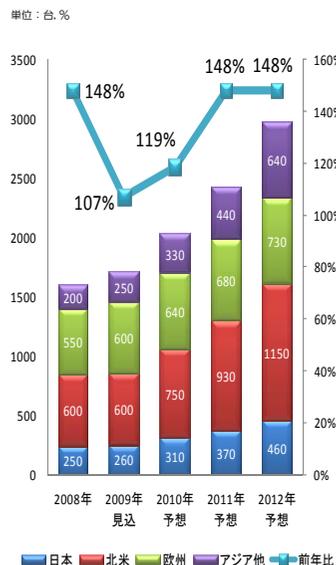
監視カメラデータ蓄積

エルミック研 ミドルウェア投入

標準規格準拠

図解 エルミックはインターネット回線で接続された監視カメラのデータを一括管理するミドルウェア「Ze-PRO IPrec (シーバ)」を開発し発表した。ネットワーク上の監視カメラの録画や検索、配信を行うシステム。ネットワークカメラの管理システム「Ze-PRO IPmon」も開発した。ONVIF規格準拠製品と合わせて2010年度に2億円、14年度までに累計10億円の売り上げを目指す。

ONVIF規格準拠品のミドルウェアを国内外で30ライセンス以上販売している。ONVIFにはネットワークビデオ監視市場で約7割の企業が参加している。



ネットワークカメラ部 (画像の提供)

「Ze-PRO® IPcam」
2009年リリース

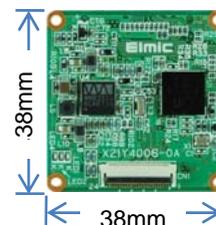
クライアント部 (モニタリング)

「Ze-PRO® IPmon」
2010年リリース

ONVIF NVS
ストレージ部 (画像の録画、検索、配信)

「Ze-PRO® IPrec」
2011年リリース

HW製品



NVTネットカメラモジュール
既存のカメラモジュールやセンサーモジュールと組合せネットワークカメラ化を実現。

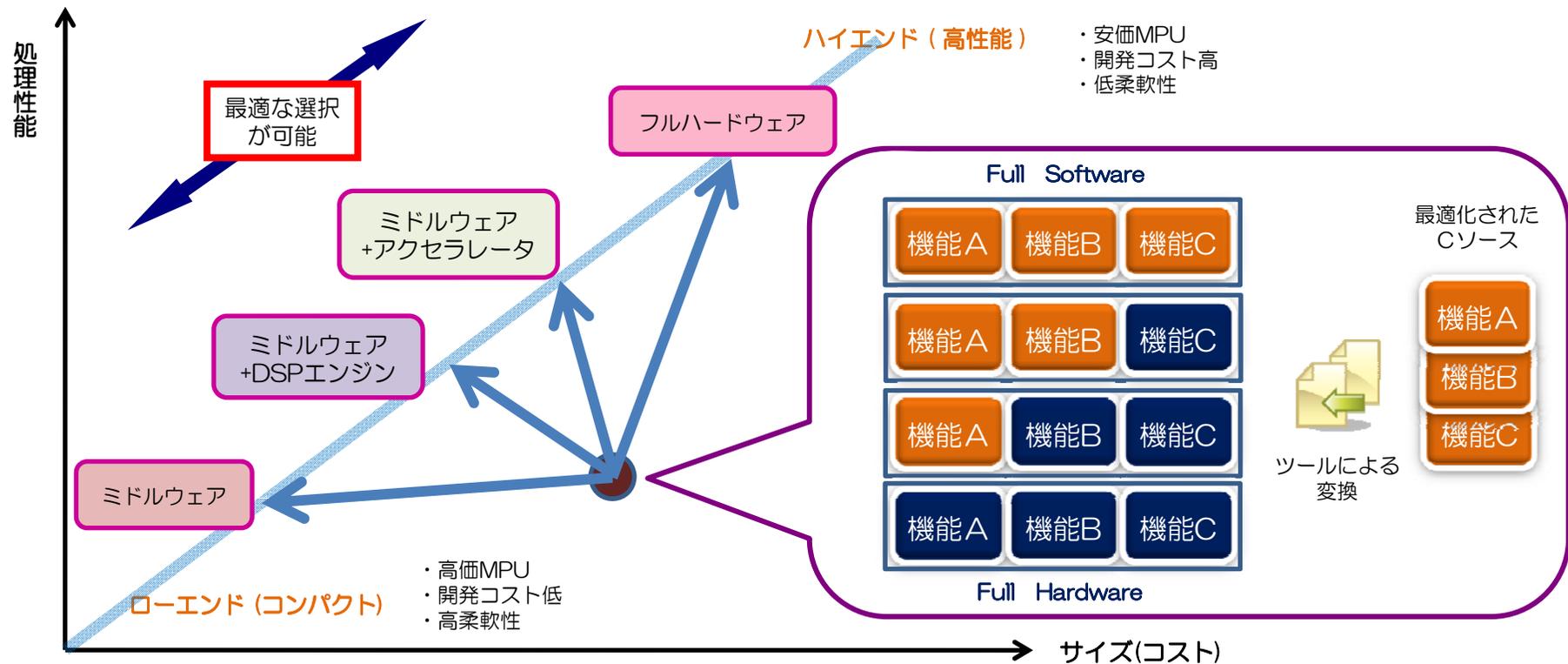


ONVIF (Open Network Video Interface Forum) は IPセキュリティ機器のインターフェースに関する標準規格策定を目的とした公開フォーラムです。2008年に設立され、現在メンバーは全世界で300社以上にのぼります。既に900製品以上のONVIF対応製品がリリースされています。今後はビル管理などを含めた規格の拡張が検討されています。

ユニークな技術・製品の開発

『マルチ スタイル ライブラリ (YAMAMEシリーズ)』

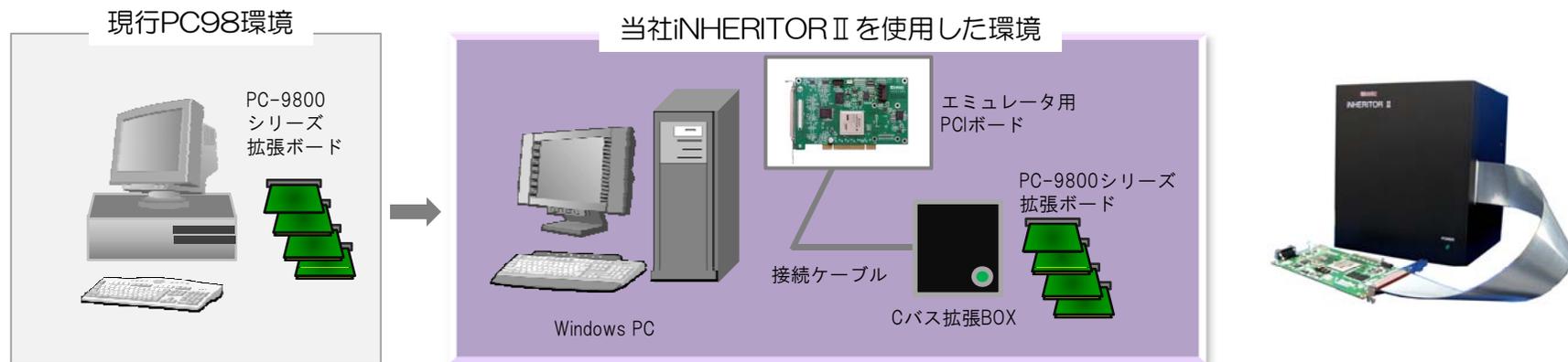
性能やコスト要求に合わせて、HWでもSWでも、HW/SWの組合せでも、機能を実現できるユニークなライブラリを開発中。組込SW技術だけではライブラリ化が不可能な、ユニークな製品を持つことにより、他社との差別化を推進。



レガシーシステム ソリューション

『PC-98エミュレーション』

当社が培ってきたOS技術を応用し、NEC製PC-9800シリーズのソフトウェア資産・システム資産を市販のWindowsPCで継続利用可能とするソリューション。半導体製造装置・鉄鋼/製紙業界製造設備・車載/工作機械製造設備などで見られる、設備の老朽化・保守部品の入手性悪化・設備入替投資の抑制などの課題に対し、コスト・稼働リスクが最小限の提案を推進。



『シリアル通信コンバージョン』

当社が培ってきた通信手順・IPネットワーク技術を応用し、シリアル入出力機器をLANに接続し、IPネットワーク経由でのデータ転送を可能とするソリューション。レガシーな通信手順を使用している各種インフラシステムや製造設備・機器のIP化を容易に実現。HDLC, BSC, X.25などのレガシーな通信手順を用いている機器のIP化を 低コスト・低稼働リスクにて実現する提案を推進。

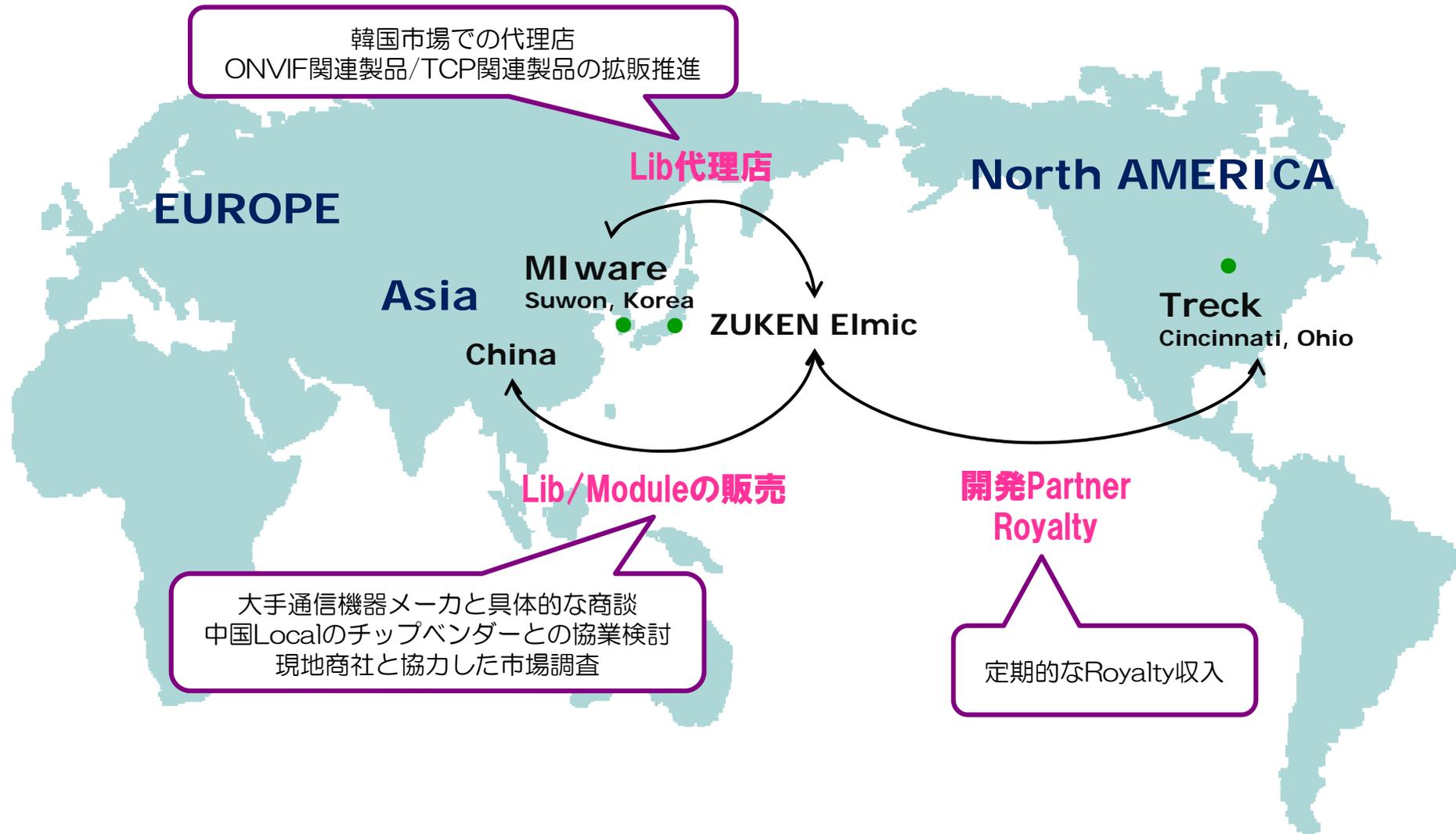
MPC
Multi Protocol Convertor



PCI-COM/FPGA Board



海外ビジネスの推進



2012年 3月期 業績見通し

単位：百万円, %

35期	第2四半期 累計		通期	
	実績	前年 同期比	見込	前年 同期比
売上高	666	103%	1,150	112%
売上原価	399	101%	564	80%
売上総利益	267	108%	586	185%
営業利益	▲23	+102	10	+499
経常損益	▲21	+98	15	+463
当期純利益	▲23	+74	10	+189

- 製品(ライブラリ製品, HW製品)販売への一層の注力による売上総利益の向上
- 原価の厳格管理と低減
- 新製品(IPrec, NVTネットカメラモジュール他)による新市場開拓と業績拡大
- 新市場(中国, 韓国)でのビジネス獲得による業績拡大

- ご注意 -

本プレゼンテーション資料および図研エルミック代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。